

習志野市こども発達支援施策一覧表

令和6年度第2回市民協働こども発達支援推進協議会
(令和7年1月27日)
資料1

	幼稚園・保育所・こども園		小学校	中学校
	乳幼児期		学齢期	
	0～6歳		6～15歳	
自律力	4（こ・幼保こ・あ）：幼稚園・保育所・こども園の職員に対し、理論や実技研修を実施		3（児）：放課後児童会での職員加配	
			6（指・総）：個に応じた合理的配慮の観点から指導を実施	
			9（総）：特別支援教育相談等を来所・電話・訪問相談で実施	
			75（総）：総合教育センターでの特別支援教育相談	
	40（健・子・あ・ひ・他）：発育・発達に課題がある児の早期発見・早期支援、適切な支援機関につなげることで相談支援体制の充実を図る			
	43（健）：地域の小児科医や心理職における相談の機会を設け、適切な支援機関につなげる			
	45（健）：1、6健診、3健診の場に専門職が対応する個別の受診機会を設ける			
	54（こ・子）：子育てコンシェルジュをこどもセンター、きらっこルーム、こども部相談窓口に配置することで切れ目のない相談支援を実施			
	73（子・健）：育児支援が必要な家庭に相談員や保健師などが訪問して、子育て支援サービスの情報提供や専門的な指導を実施			
	51（子）：子育て相談室において、子育てに関するあらゆる相談に対応			
	75（子）：家庭児童相談において適切な情報提供や支援の実施			
	52（子・ひ・健）：広報、HP、パンフを通じて支援が必要なお子さんの子育て情報や相談窓口情報の提供			
	81（障・ひ）：障がい児を一時的に介護できない時に、利用できるサービスの情報提供			
	82（障・ひ）：障がい児を対象とした療育や訓練などを受けることができる施設の周知および利用の促進を図る			
	75（総）：就学説明会の開催 就学前施設での個別の就学相談			
	80,83～86（障）：手当の給付や医療費、タクシー運賃の助成			
			87（学）：特別支援教育受ける世帯に就学奨励費を支給	
	72（こ）：幼稚園・保育所・こども園での職員の加配配置		70（総）：適応指導教室を設置。また出前適応指導教室を実施し相談窓口を市内各地に展開	
	75（ひ）：巡回相談（園に専門職を派遣）		71（指・総）：小中学校に教育相談員、スクールカウンセラーを配置。総合教育センターでの、電話・来所・訪問（学校・家庭）相談での対応。啓発資料	
	75（こ）：学級運営支援事業（臨床心理士等の派遣）			
	76（あ）：肢体または知的、発達に課題のある児童に生活習慣の確立や社会生活への適応性を高める療育を実施			
	75（ひ・指）：乳幼児個別支援計画・個別の教育支援計画			
	75（ひ）：ライフサポートファイル			
	30（都・障・ひ）：ヘルプマークや障がいのある人に関する標識の周知・啓発			
	75（ひ）：講師派遣型研修 発達支援基礎研修 公開講座			
	88（障）：基幹相談支援センター等と連携し福祉サービスや社会資源の利用援助や情報提供、権利擁護の援助等の総合的な相談を実施			
	77（ひ・障・こ・指・あ・小中・幼保こ）：市民協働で発達施策の推進を図る			
	98（子・こ・政）：就学前の子と親が自由に遊び交流場として土日に開放 地域で安心して子育てができるようにコンシェルジュを配置		97（社・児）：放課後などにすべての児童を対象として、学習や体験、交流活動の場として、小学校の余裕教室や体育館、運動場を活用	
	106・107（こ・幼保こ）：親子・子ども同士・親同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・幼稚園・こども園に開放			
	104（子・こ）：子ども食堂運営事業者等の地域で子育て支援に様々な形で関わっている団体と連携し支援を実施			
	108（子・公・協）：親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供やNPO法人や育児サークル等の育成・交流等を支援			

こども部
政:こども政策課
子:子育て支援課
あ:あじさい療育支援センター
幼保こ:幼稚園・保育所・こども園

こ:こども保育課
ひ:ひまわり発達相談センター
児:児童育成課

学校教育部
指:指導課
総:総合教育センター
学:学務課
小中:小学校・中学校

健康福祉部
障:障がい福祉課
健:健康支援課

複数の部が関わる事業
社:社会教育課
公:公民館
都:都市政策課
協:協働政策課

作成日:令和7年1月17日